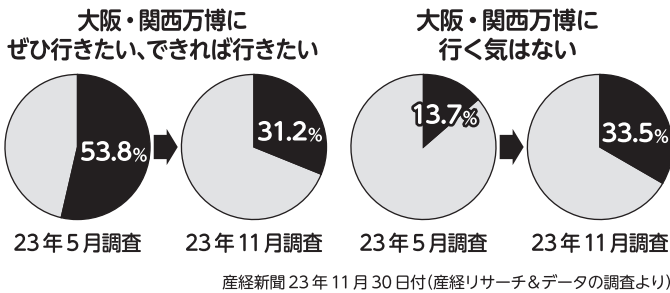


万博より、いのちとくらしを優先に 「大阪・関西万博」今なら中止できます

2025年大阪・関西万博は、会場建設費が当初計画から倍増し、新たに日本館建設などで873億円の負担増が。また、アクセス道路やインフラ整備費も上振れし、国民と府民の負担は増え続けています。万博会場の「夢洲」は、軟弱地盤と汚染土壌を抱え、陸上アクセスもトンネルと橋の2箇所しかなく、海外パビリオン建設も開幕に間に合うか懸念されています。台風や地震時が非常に心配です。被災者の退避ルート確保など、災害時の万博来場者に対する安全対策が後回しになっています。

大阪万博の開催に「不要」が7割も

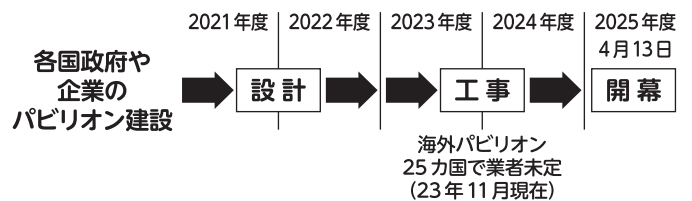
会場建設費上振れなど理由に万博開催に「不要」68.6% 「必要」28.3% (共同通信)



深刻な事態！海外25カ国で業者未定

日本建設業連合会の宮本会長は「デットラインはもう過ぎている」と危機感

大阪・関西万博に向けたスケジュール



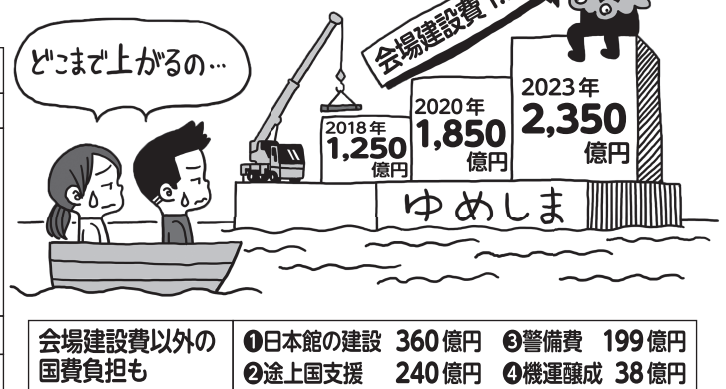
関連インフラ整備にも税金投入

夢洲へのインフラ整備、高速道路や鉄道などに莫大な税金投入

どこまで増え続けるの？国民負担に

3,187億円 → (国民1人当たり単純計算) 2,560円
巨大屋根「木製リング」350億円にも怒り

大阪・関西万博、増え続ける費用



膨らむ万博・カジノ関連インフラ整備		
当初の額	上振れ額	
万博会場建設費 1250億円	・大屋根350億円など	+1100億円
夢洲インフラ整備 約1000億円	・IR予定地の土壌対策	+788億円
	・万博跡地の土壌対策費(リスク想定)	+788億円
	・大阪メトロ延伸の地中障害物撤去など	+96億円
	・夢洲駅増強や周辺道路の拡幅	+33億円
	・夢洲駅の改札前広場や階段の整備	+30億円
淀川左岸線2期工事 1162億円	・工法見直しなど	+1795億円
合計 約3400億円	合計	約4600億円

国民のくらしが大変やのに、なんで万博をやるのか？

傷が浅いうちに「万博中止」の決断を世論と運動で迫ろう

「明るい民主大阪府政をつくる会」は、会場建設費が当初計画の1.9倍の2350億円への上振れで、公費負担が増えつづけ、海外パビリオンの建設遅れなど、多くの問題点や矛盾を抱える「大阪・関西万博の中止を求める署名」を集めています。オンライン署名も始めましたので、ご協力をお願いします。

オンライン署名 こちらから→chn.g.it/8SjGrNz4GW



内閣総理大臣 岸田 文雄 様
国際博覧会担当大臣 自見 英子 様
大阪府知事 吉村 洋文 様
大阪市長 横山 英幸 様

2025年大阪・関西万博の中止を求める要請書

2025年4月に開催予定の「大阪・関西万博」会場建設費は、当初計画の1,250億円から約1.9倍の2,350億円に上振れし、国と府・市の公費負担が増えることで、大阪市民一人当たりで約1万9千円(府民負担約4千円、国民負担約600円を含む)と国民と住民に膨大な負担となります。

万博現場の状況をもても、建設業者が集まらず工事の着手が大幅に遅れるなど、予定どおり開催ができるのか非常に危ぶまれています。また、パビリオン建設の遅れを取り戻すため、万博工事を時間外労働の上限規制の対象外にする動きもあり、違法な長時間労働が万博で働く労働者に強いられる危険は否定できません。いのちと安全を置き去りにすることは、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」という理念にも相容れません。さらに、国民負担増をおしつけ、「夢洲」のインフラ整備に巨額の税金をつぎ込む万博は「中止せよ」と怒りの声が日を追うごとに高まっています。

いま、「万博の開催を中止する」と早く決断することで被害が少なくできます。半年だけ開催する万博に巨額の公費を投入するより、暮らしを守り、福祉と医療の充実、災害対策の強化を求めます。

よって、以下のとおり要請します。

「大阪・関西万博」開催の中止を決断し、ただちに手続きを行うこと

氏名	住所

【呼びかけ団体】 明るい民主大阪府政をつくる会(明るい会)

集約先：〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-13-15 大阪グリーン会館3階

連絡先：メールアドレス：minshu@osaka-akarui.com TEL 06-6357-5333 FAX 06-6357-5303

【取り扱い団体】 ()